

<週報No.2, 877> 2, 988 回例会

2019年4月12日(金)

■会長/古屋 了 ■幹事/加藤 明博

◆司会=伊藤武利 SAA

◆ゲストビジター=武雄ロータリークラブ 清水一智様

◆出席報告

本日	76.74%	14名欠席
前回訂正	86.96%	6名欠席

◆ラッキーナンバー=No.22 北澤光彦君

◆ニコニコボックス=●古屋了君、加藤明博君=本日のクラブフォーラムは会員増強委員会の担当です。宜しくお願いします。●岩波寿亮君=佐藤さん入会ありがとうございます。今日からよろしくお願ひいたします。清水さん今日はようこそ。これからもよろしくお願ひいたします。●石田孝一君=佐藤様 これから宜しくお願い致します。●清水一智君=久しぶりに帰省し、今日はお世話になります。大学の後輩矢崎君の葬儀にも参列しました。残念です。●北澤光彦君=ラッキーナンバーに当たります。

◆会長告知・古屋了会長=明日からは「穀雨」を迎え農作業も本格化します。「梅の花咲きて散りなば桜花継ぎて咲くべくなりにてあらずや」とは、万葉集梅花の歌三十二首のひとつで、諏訪の春も梅から桜へと移り変わります。さて、本日は新元号の考案者と目される中西進氏の言説から「令」に込められた思いを推察いたします。中西氏は昭和4年東京都に生まれ、戦時中、広島大学の付属高等学校から東大を経て国文学者としての道をスタートした方ですが、自身の戦争体験についてこう語っています。「私は戦時中広島に暮らしてしまし、原爆が落とされる2年前に東京に引っ越しています。同級生は原爆で大勢死にました。米軍機の機銃掃射を受けたこともあります。敗戦前の東京は…死体がゴロゴロ転がり、身の毛のよだつ光景でした。太平洋戦争はまさに権力者が外交の失敗を武力で補おうとした『権力災害』です。」これが、中西氏の歴史観です。

外務省では令和を Beautiful Harmony と発信したそうですが、中西氏が「令和」に込めた思いを察することのできる随筆にこうありました。

聖徳太子は17条憲法第一条主文で「和は貴い、仲良くすることを第一として争いごとを止めよ」と説き、それに続く解説文ではこう示しています。「人間は仲間を作りたがり、知者とは意外に少ない。だから従来人はバラバラに生きてきた。しかし、リーダーが『和』の心をもって秩序を重んじると、集団は自然に仲良くなり、議論を通じて調和的な結果がでる。すると論理も自然に適っているから何事もできないことはない」と。また、為政者も民もいずれも凡夫であるとの人権意識に立って「基本的に必要なのは秩序。曰く『年上でも上司でも、人柄でも親族でも、リーダーになるべき人が、まず「和」の精神を持てば、下の者は自然に仲良くなる』。換言すると自然に秩序をもたらすようなリーダーを望んだ。『和』の集団には、心のリーダーが必要なのだ」と説きます。これは徹底した人間主義と平等観に立脚した為政者の独善性への戒めでもあります。「令」には人間主義のリーダーのもたらす秩序あるハーモニーという意味が込められているのではないのでしょうか。

昨夜は小口ガバナー補佐予定者を中心に次年度に向けての集いがございましたが、そこで一句詠んでみました。

「IM で不安演じたリーダーを支える布陣(とも)の麗しき宵」愈々令和元年、小口予定者を皆さんで支えて参りましょう。

◆幹事報告・加藤明博幹事=①本日のクラブフォーラムは会員増強委員会の担当です。宜しくお願いします。②先週に引き続き新入会の方が例会に出席されています。後ほど岩波会員よりご紹介をお願いします。③長野日報様より広告企画の依頼がありましたので、原稿を回覧しています。④18日に行われる諏訪湖ロータリー合同花見会では、ハーブの演奏が有るとのことです。皆さんお楽しみにして下さい。

◆新入会員セレモニー・

佐藤忠士会員=アクサ生命保険(株)諏訪営業所の佐藤忠士と申します。前任地の飯田でも飯田南RCに在籍しており、ロータリーの活動を勉強させていただいておりました。是非これからは今後も継続していきたいと思っていたところ、諏訪RCに入れていただくことができました。今後はロータリアンとして地域に貢献できるようにしていきます。



今後ともよろしく願いいたします。

◆クラブフォーラム 会員増強委員会

●小口武男委員長＝

本日は会員増強についてお話をさせていただきます。今年はこのように会員増強特別委員会という組織を作っていました。こここのところ、皆さんに頑張ってもらい、新しい会員が増えてきており、喜ばしく思います。



皆さんは「My ROTARY」をご存知でしょうか。まだ登録している方は少ないようですが、是非とも「My ROTARY」に登録をして、色々なロータリー情報を得て、ロータリーを深く理解してもらいたいと思います。この中でも、ロータリーは会員増強を強く謳っております。また、クラブセントラルというものは御存じでしょうか。これはそれぞれのクラブの情報が載っているものです。例えば、諏訪RCの会員数は、7月1日時点で41名、そのうち女性1名。諏訪グループの会員数は7月1日時点で274名、そのうち女性11名。第2600地区の会員数は7月1日時点で1,921名、そのうち女性100名となっています。

2600地区では、会員増強目標を3つ掲げています。①各クラブにおいて、会員純増1名以上。②各グループにおいて、会員純増10名以上。③地区の会員数を2,000名超。これを元に各グループには会員増強の目標が割り当てられています。諏訪グループの会員数は、長野市を含む北信第1グループに次いで県内で2番目ですが、純増会員の割り当ては26名と県内で最も多くなっています。

皆さんは、「これだけは知っておきたい ロータリーの基礎」という冊子を読んだことがあるでしょうか。この本の中に、三つの基本理念が書かれています。まずは、ロータリーの目的。次は、四つのテスト。最後は五大奉仕であります。ロータリーの目的は、第1に知り合いを広める。第2に職業上の倫理基準を保ち、職業を高潔なものにすること。第3に奉仕の理念を実践しなさい。第4に国際理解、親善、平和を推進しなさい。とあります。私はロータリーの目的はとても素晴らしいものだと思います。また、四つのテストは、皆さんもよ

くご存じかと思いますが、1. 真実かどうか。2. みんなに公平か。3. 好意と友情を深めるか。4. みんなのためになるかどうか。という問いです。私は、この四つのテストを肝に銘じて、自分を律していくということが大事ではないかと考えています。

以前会員であった安川さんは、世界中の色々なロータリークラブに行った時の感想として、何処に行っても同じような例会を行い、似たような職業の仲間がいるため、世界中の人と仲良くなれると話してくれました。そのようなところがロータリーの魅力であり、素晴らしさであると思っております。

今後、ロータリーの会員を増やしていくために、「ザイアンスの法則」を使ってみたいかと考えています。「ザイアンスの法則」とは、①人は、初めてあった人には冷淡で攻撃的になる。②人は、合う回数が増えるほどその人に好意を持つ。③人は、相手の個人的側面を知るほど相手に好意を持つ。という心理学の法則です。この人は良さそうだと思う人がいれば、「ロータリーに入ろうか。」と思ってくれるまで何度も何度もお誘いしていただければと思います。

先日、PETSに参加した際に、会員拡大について以下のような話を聞きました。①自分で起業した人は意欲がある。②飲み会で知り合いを勧誘するケースも。③銀行からの情報。④同好会の多いクラブは若い人が入る。④転勤するメンバーへの配慮。皆さんもこれらの事を念頭においていただければと思います。

ここで、以前皆さんに書いて頂いた会員候補者リストをご紹介します。他にも良さそうな方がいれば、また教えて下さい。また、どんな職業の方に入ってもらいたいか書いていただきましたが、それがこの一覧です。これらを参考にして、皆さんも会員増強活動に協力をお願いします。

最後に、ロータリークラブのイメージ向上ということで、マスコミの利用なども検討していく必要があると考えております。

◆今後の例会日程

4月18日	木	諏訪湖RC合同花見例会、ガバナー補佐訪問
4月19日	金	休日
4月26日	金	クラブフォーラム（ロータリー情報）
5月3日	金	法定休日

執筆担当 五味武嗣